

あなたの声を……

第30号
2008年5月

こうら議会だより

発行／〒522-0244 滋賀県犬上郡甲良町議会 TEL0749-38-5060 FAX0749-38-3421 編集／議会広報特別委員会
ホームページアドレス <http://www.kouratown.jp/>



(4月8日・甲良東小学校の入学式)

◎平成20年度予算……………	2
◎常任委員会報告……………	4
◎意見書……………	6
◎一般質問……………	7
◎広域行政施設の視察・見学…	9
◎町内公共施設の調査…………	11
◎議会日誌……………	12



(一本の木から紅白の花びらの枝垂れ桃)

審議内容

議案（31件）

規約の変更等

1、湖東広域衛生管理組合の規約を一部変更
共同処理事務に「乳幼児発達相談指導事業に関する事務」を追加。

2、温水プール・香良の湯の指定管理者の指定
草津市（株）いずみ二一代表取締役 吉武昭隆氏（20年4月から3年間）

平成20年度特別会計総括表 (単位：万円)		
会計区分	予算額	前年比較
国民健康保険	8億2,017	△1億0,299
老人保健医療事業	8,191	△6億7,903
後期高齢者医療事業	5,900	5,900
介護保険	4億8,115	906
墓地公園事業	276	22
住宅新築資金等貸付事業	8,894	△2,454
土地取得造成事業	1,000	0
下水道事業	7億4,283	1億3,185
水道事業	3億6,918	5,229
合 計	26億5,594	△5億5,414

条例の一部改正

3、特別会計条例
「後期高齢者医療事業特別会計」を追加。

4、町長の資産等の公開
条例

5、非常勤職員の公務災害補償等条例
「身体障害者療護」を「障害者支援」に改正。

6、国民健康保険税条例
課税額（所得・資産・

均等・平等制）の改正。

7、国民健康保険条例
一部負担金の適用年齢が3歳から6歳に、70歳以後1割が2割負担に、葬祭費3万円を5万円に改正。

8、福祉医療費助成
高齢者の医療に関する法律の改正に伴う改正。

9、老人福祉医療費助成
条例

適用法律の改正に伴う
条文の改正。

10、介護保険条例
保険料率の特例（激変緩和措置）を1年延長。

11、子どもの家の設置および管理
条例

利用料を免除（全額・半額）できることを追加。

12、水道事業給水条例
民法の消滅時効の定めから料金の支払請求権を放棄できることを追加。



子どもの家（学童クラブ）

条例制定

13、後期高齢者医療条例
広域連合の定めのほか、町が行う事務等を定めた。
補正予算

14、一般会計
4、338万円

15、国民健康保険会計
△5、443万円

16、介護保険会計
4、648万円

17、墓地公園事業会計
3万円

新年度予算

18、住宅新築資金等貸付事業会計 278万円

19、下水道事業特別会計
△4、630万円

20、水道事業会計
△969万円

21、一般会計

22、国民健康保険

23、老人保健医療事業

24、後期高齢者医療事業

25、介護保険

26、墓地公園事業

27、住宅新築資金等貸付事業

28、土地取得造成事業

29、下水道事業

30、水道事業

追加議案

31、財産の取得追認議決
ふるさと交流村施設用地1万6、218平方メートルの取得について、追認の議決を行った。

発議（1件）

1、議会議員の報酬および費用弁償等条例改正
議員の本会議・委員会出席の場合の一日、1000円の費用弁償を削除

長寺 竹田金春氏（再任）

意見書（1件）

1、「道路特定財源の暫定税率の維持と道路財源の確保を求める意見書」
提出を決定。（別掲）

選挙（1件）

1、大滝山林組合議会議員の選挙（結果）

尼子 小林喜太郎氏
下之郷 川並 弘隆氏
池寺 藤原 勝義氏
法養寺 上田敬治郎氏
長寺 北川 豊昭氏
長寺 山田 壽一氏
尼子 藤堂 一彦氏
呉竹 金澤 博氏

平成20年度予算決まる

一般会計 32億1,600万円 昨年より 1,600万円 増

特別会計 26億5,600万円 昨年より 5億5,400万円 減

重要施策の概要

平成20年3月定例議会は、3月5日から3月19日までの15日間の会期で開かれた。今回は、議案31件、（追加1件含む）、諮問、発議、意見書各1件、その他2件が提出され、審査の結果、すべて原案のとおり可決、決定された。
一般質問は、3月19日に2人の議員が行った。

ふるさと交流村に7億4千万円を予定。うち、9千5百万円を今年度計上した。失敗は許されない。綿密な計画と慎重な事業実施を求める。

1、せせらぎ遊園のまちづくり
まちづくり活動補助金 900万円
国際交流企画員設置 309万円

2、青少年育成・子育て支援
子育て支援 3、433万円

3、農業農村振興
農政推進専門員設置 210万円
園芸作物振興補助金 428万円
ふるさと交流村整備 9、486万円
地域農産物開発育成補助金 75万円

妊産婦健康診査 300万円

平成20年度一般会計予算													
4、教育・文化振興 中学生海外派遣研修 200万円 スポーツエキスパート 400万円 町指定文化財説明板設 置 120万円 青年・女性活動活性化 補助金 100万円		【歳入】			(単位：万円)			【歳出】			(単位：万円)		
		款名	予算額	前年比較	款名	予算額	前年比較						
5、福祉 心身障害者医療費助成 100万円 在宅高齢者介護用品支 給補助金 260万円		町税	8億8,594	△5,553	議会費	6,246	△667						
		地方譲与税	4,200	0	総務費	5億3,435	5,033						
		地方消費税交付金	6,200	0	民生費	9億7,173	1,441						
		地方交付税	13億2,000	7,000	衛生費	3億1,917	△5,954						
		分担金及び負担金	3,977	△857	労働費	806	10						
		使用料及び手数料	3,114	△1,159	農林水産業費	1億9,452	1億1,811						
		国庫支出金	1億1,207	△73	商工費	3,671	△564						
		県支出金	1億9,335	△858	土木費	4,799	△5,771						
		繰入金	1億6,598	2,930	消防費	9,921	△2,101						
		繰越金	4,000	0	教育費	3億6,615	△1,133						
		諸収入	9,823	758	公債費(返済金)	4億5,871	△1,208						
		町債(借入金)	1億7,490	△970	諸支出金	1億1,343	703						
6、観光振興 せせらぎ夏まつり 400万円		その他	5,062	382	その他	351	0						
		合計	32億1,600	1,600	合計	32億1,600	1,600						
7、その他 一時避難所等耐震補強 設計委託 219万円 呉竹センター改築設計 委託 1、180万円		日光市姉妹提携30周年 記念 138万円											

常任委員会報告

総務民生

付託事件の審査結果

◎温水プール・一般入浴施設「香良の湯」の指定管理者の指定
町の施設すべてを指定しないといけないのか。入浴料の値上げは、指定管理とセットなのか。風呂まで指定管理にしないといけないのか。

あることから同時に指定することから同時に指定する。なお、町民へのサービス低下にならないよう管理者と連携、指導をしていく。
(賛成多数で可決)

◎国民健康保険条例の一部改正
健康診断は、なぜメタボと生活習慣病に重きをおいて実施するのか。検査項目は変わらないが、特定検診は国保加入者のみを対象とする。胃検診などは別枠で実施する。
(賛成多数で可決)

◎国民健康保険条例の一部改正
葬祭費が3万円から5万円になっているが、国保連合で統一したのか。一部に3万円で据置き

建部孝夫委員長



の団体もあり統一はされていない。
(賛成多数で可決)

◎介護保険条例の一部改正
正の一部改正
加入者の負担増から激変緩和措置がとられ、一年延長されるが、その後の国の方向性はどうか。延長は、20年度のみである。
(賛成全員で可決)

◎後期高齢者医療条例の制定
保険料の支払いができない人の保険証の交付はどうなるのか。

今、広域連合で検討中である。方向としては、21年に6ないし3か月の短期証明書を、平成22年から資格証明書の交付になる。

(賛成多数で可決)

◎道路特定財源の維持と確保を求める意見書
暫定税率を維持してきても、生活道路は後回しになっている現実があるが。

今まで取り組んできたことが無駄になる。道路は必要であり税率を維持していくべきとの意見が大勢であった。
(賛成多数で可決)



産業建設文教

濱野圭市委員長

町長は民法の規定により消滅時効の完了した料金の支払請求権について、これを放棄することができる。

この条例文だけでは町民に正しく認識されないのではないか。

一部規則改正をして細分化していく。
現在の滞納は何年から何年で金額は。

平成2年から平成20年1月までで、331件、4,348万円。内、個人破産は11件、倒産は10件である。
滞納発生の処理については。

未納が発生したら直ちに回収を行い、そのことが時効の中断となり消滅時効を延ばすこととなり、2年後時効が完了しても時効の援用がない場合は通常通り債権の回収を行う。

改正案
第33条に次の一項を加える。
(料金の支払い請求権の放棄)

予算決算

◎平成19年度一般会計補正予算(第6号)

墓地の測量業務委託の負担割合については。全体を町が現況測量して販売促進につなげるので、町が全額、負担する。

今回の補正の基本的な考え方は。

決算見込みをたて事業の進捗状況、支出の見通しから補正をした。

障害者自立支援法に係る負担金が減額されているが、その原因は。自立支援介護等給付費負担金および福祉医療費等の減額による。

北川豊昭委員長



◎平成20年度甲良町一般会計予算

●歳入について
県民税の徴収事務の内容は。

町民税と県民税を徴収、県民税の徴収手数料は課税人数×4,000円還元される。

地籍調査補助金の調査対象は。

圃場整備してない集落周辺と集落部の地籍調査によって土地の戸籍を把握し、土地間のトラブル防止、土地取引の円滑化を図る。

●歳出について

防犯灯のない箇所があるが増設の予定は。

暗い箇所は集落の要望を参考に整備に努力する。甲良豊後守記念館の修復内容は。

屋根のよし葺の修理とシロアリに腐食されている部分の修復である。



保育センターの給食

30年間にあふ同和対策事業が残り、今後は両センターが近隣地域交流センターとして活用されるが予算減でいけるのか。

今後地区の人達の自立支援と東学区、西学区を視野に入れた取組が大事になってくる。

呉竹センター建設委託については、老朽化が激しいので20年度に設計、21年度に建設を計画している。

中学校の海外派遣補助金が減額になったのは。20年度はタイに交流派遣を予定しており、距離が近くなったことによる。

学校給食の賄い材料の地域農家からの納入状況は。米は昨年11月から法養寺と農協で半々納入、野菜は給食センターに見合った納入でしてもらっている。

町内に民間企業が164社あるが防災無線が設置されていない、緊急時には企業の協力も必要と思うが設置の考えは。今後の検討課題として考える。

ふるさと交流村拠点施設を作るため、土地16,000㎡用地買収したが、議会の議決なく取得した事は重大な過失が町長、町幹部にあった。

議会の議決なく契約は無効である。町は改めて土地取得議案を議会に提出、可決しないと売買契約は無効になるとの指摘があった事に対し、

昨年後半に用地取得交渉が成立した。1筆が5000㎡以下

◎平成20年度甲良町老人保健医療事業会計予算
この会計の終結は、償還払いが2年間は請

他の特別会計についても質疑、指摘があった。

◎平成20年度甲良町国民健康保険会計予算

後期高齢者の医療制度の創設と合わせて老人抛

出金が1億2,700万円減額、一方で後期高齢者の支援金は9,900万円で2,800万円ほど抛出金が減っているが。国の単価で算定した結果、後期高齢者の方が少なかった。

◎平成20年度甲良町水道事業会計予算
メーター交換、修繕費の事業内容は。計量法に基づいて8年の規定があるので3ヶ年で実施する。

求が出来、3月分の医療費は連合会を通して町に請求が来るので年度がまたがる。

◎平成20年度甲良町墓地公園事業会計予算

墓碑移転促進補助金は利用見込み状況を把握しているか。

要望の多くあった長寺西・東の役員会で墓地の販売促進をお願いした。長寺東では全ての方に移転の提案もした。

◎平成20年度甲良町水道事業会計予算

メーター交換、修繕費の事業内容は。計量法に基づいて8年の規定があるので3ヶ年で実施する。

他の特別会計についても質疑、指摘があった。

一般質問 Q & A

道路特定財源の暫定税率の維持と道路財源の確保を求める意見書の質疑・討論

《質疑》西澤議員

特定財源の税金が長く続いている中で生活道路は後回しになってきた現実がこの道路特定財源である。また道路以外にも使われていることが問題にもなっている。高速道路が最優先で生活道路は後回しにする。これを維持すると言うのが道路特定財源の暫定税率の維持することの狙いであると思うが、どのように認識されているか。

《応答》山田議員

滋賀県においても第二名神の開通が終わり、これからは生活道路を考える方向だと思うので暫定税率の維持は確保していきたい。

《賛成討論》北川議員

ドライバーが均等に二十五円の税金を納めることで道路整備も良くなっ

ていることは否めない。

滋賀県においても道路特定財源のおかげで新名神が開通した。開通することによって現在の名神の通行量の緩和ができた。

甲賀市では経済効果も出てきて観光客も増えメリットを考えると効果が出ている。

甲良町でも三〇七号池寺地先の歩道の設置の目処がついてきている。在土地先の歩道や生活に密接した生活道路のインフラ整備も道路特定財源があるから進められている。町道も補修工事することで安全確保ができ、この財源は意義がある。

甲良町の公共事業を行う起債の充当、財政力の乏しい地域では重要と考える。

今後も特定財源として一般財源化することなく

進めてほしいと判断し賛成する。

《反対討論》西澤議員

道路特定財源の問題点は、生活道路に回らず大型の開発に優先される。この意見書を出せば五十兆円を道路だけに使うことを地方が容認するこ



【基本価額】 + 【暫定税額】	
ガソリン原価	88.0円
揮発油税	24.3円 24.3円
地方道路税	4.4円 0.8円
石油石炭税	2.0円
消費税	7.2円
計	125.9円 + 25.1円 = 151円 / ℓ

道路特定財源の暫定税率の維持と道路財源の確保を求める意見書

道路は、日常生活や経済・社会活動を支える最も基礎的な施設であり、災害に強い町づくりを推進する上でも、その整備、維持管理は必要不可欠である。

又、私たちの地域においても、道路ネットワークの一層の充実と誰もが安全で安心して利用できる道路整備に対し住民から強い期待が寄せられている。

一方、道路特定財源の今後のあり方については、国政の場で議論が進められているが、遅れている地域の道路整備を円滑に進めていくためには、安定的な財源の確保が極めて重要である。しかしながら、道路特定財源諸税の暫定税率が19年度末に期限切れとなり、地方道路整備臨時交付金制度が廃止されれば、甲良町の道路整備財源は大幅に減少することとなり、現状でも立ち遅れている道路整備はさらに遅れることになる。

さらに、維持管理の面でも道路の補修や除雪が十分に行えないなど住民生活に多大な影響を及ぶことが懸念される。

よって、国会及び政府に置かれては、地方における道路整備の実情とその必要性を十分確認され、次の事項の実現をと強く要望する。

記

1. 道路整備の安定的な財源確保のため、道路特定財源に関する関係諸税の暫定税率を10年間延長すること。
2. 平成20年度以降も地方道路整備臨時交付金制度を継続するとともに、未だに整備が不十分である地方への道路特定財源の配分割合を高めるなど、地方における道路整備財源の更なる拡大を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成20年3月5日

甲良町議会議長 藤堂与三郎

とだからあげないことが大事。逆に地方道路、生

活道路を優先して国が財産配分すべきだと言う意

見書をあげるべきであり反対する。

中学校の部活動は重要！

宮寄光一議員



図り、一人ひとりの生徒に目が行き届くよう、町職員を指導者として派遣することは可能なのか。

《A》教育長

結論から申しますと現状では町職員を学校へ派遣するということは考えていない。部活の活性化と子供たちの安定というのは非常に密接な関連がある。今年度の人事につ

児童生徒の登下校での交通安全と不審者対策は。

《Q》県道に隣接している中学校生徒の登下校の交通安全にどのような対策をしているのか。

《A》学校教育課長

朝は学校の方で8時20分から10分程度校門の前に立っている。また、夜、

部活で遅くなった場合は周辺の道路沿いに懐中電灯などを持ち指導している。

《Q》防犯非常ベルの作動状況、またいたずらはないか。



甲良中学生の海外派遣の成果は。

《Q》甲良中学生の海外派遣研修事業の今までの派遣先とその事業の成果はどういうところにあるのか。

《A》学校教育課長

平成14、15、16年度はイギリスへ、17年度についてはテロの関係で中止になり、18、19年度はテロの可能性も考えニュー

ジーランドに行った。研修後は町の青少年育成大会で研修に行った子供たちに発表をしてもらった。ホームステイを通して自立心ややり遂げた満足感を得てもらえてよかった。平成20年度は、タイへの海外派遣研修を予定している。

《A》総務主監

平成18年1月から作動開始し、平成18年で5件、平成19年においても5件のベルが作動した。10件のうち3件は小学生の押し間違いによるもので次の3件は中学生によるいたずらであり、あと4件についてはかけつけたときには人影もなく事件性があるという確認ができないということであった。



総合型地域 スポーツクラブの取り組みは。

Q 「総合型地域スポーツクラブ」の甲良町での取り組み状況と今後の方向性は。

A 社会教育課長
20歳以上の方を対象にアンケートをし、週に一回のスポーツ実施率が甲良町は低いという結果

長寺「老人憩いの家」の改修計画は。

Q 長寺「老人憩いの家」の現状と改修の計画や予算はあるのか。

A 保健福祉主監
51年初期の建築であり、30年が経過している為、老朽化があちこちで見られる。現在トイレの水洗化として500万円の予算計上がされており地域に必要な基盤整備の観点



から交流事業を主とした整備内容であれば1、000万円までの交付が受けられるとのことであるので国に協議をかけている最中である。

特産品も財政見通しも未知数 ―施設建設では順序がちがう―

西澤伸明議員



Q 3月12日、用地取得契約の追認議案が可決され、町当局と議会の関係が修復されたかに見えるが、契約の不当性は消えない。町民や職員は、夕張のようになるのではないかと、大変な心配していると思う。現に特産品も、生産者の意欲も、組織も全く未知数で、将来大きく深い禍根を残す危険をはらむ。今からでも用地買収を白紙に戻すよう求める。

用地の先行取得は事前協議をスムーズに、また、事業採択を有利にするためと理由づけられたが、

事業採択の前提条件か。

A 産業振興主監
先行取得が条件項目ではない。ただし、採択において計画の確実性をはかる重要な要素として状況確認がされる内容だ。

Q 道の駅である簡易パーキングの登録申請窓口である近畿整備局の松田課長との電話連絡では、事業採択の前提条件に土地の所有を指導していないし、それが条件ではない。あくまで要綱を満たす範囲で申請があるかどうかだとの回答だ。間違いないか。

A 産業振興主監
道の駅認定に関する業務としては、今ほどのような規定はない。報告どおりかと思う。

307号線 金屋交差点



交流村予定地

Q コンビニストアの位置づけについて議会に提出した資料によれば、委託する場合60万程度の賃料を徴収する予定など書かれているが、地域振興、農業振興、甲良町の特性を活かす一番角っこ、人を集めるところに、なぜコンビニストアなのか。

A 建設水道主監
ふるさと交流村拠点の防災上の役割も大きく果たせる意味から災害協定

その課が合併推進の担当である関係は。

A 総務主監
ふるさと交流村は、犬上プロジェクトにおいても広域で協力事業として呼びかけており、広域事業としての参画を目指す基本スタンスである。合併のすり合わせは、コメントする余地がない。

Q 財政見通し、分野別の売り上げ規模の見込み等が議会に示された後、用地の買収に入るべきと考えるが、投資を何年で回収するか、県内類似施設や県外での事業規模や顧客数で概算の調査はどのようにしているか。

A 産業振興主監
全体的な概要は町費総額約3億、ピーク時では1億を想定。厳しい財政事情ではあるが地域振興発信の場として不可欠であり、推進可能な計画と

位置づけている。費用対効果を含めて、農水省の直接指導も受け、企業的感觉で十分必要なものかとも思うが、公共的な地域間交流効果や地域活性化効果というものを国の方で試算し、妥当であるという判断をいただいている。

Q 地域間交流効果等が上があれば、事業経営として収支がとれなくてもいいとの発想は持っていないか。

A 町長
赤字経営をしないための入り込みの増加であり、そのバックにある農業振興が中心になる。その方向は変えておらず、この事業の執行も、当初から行政はタッチをしていないので、今回の投資についてはいろいろな補助事業を駆使しながら、あまり後の運営の負担にならないような施設整備を考えていきたい。

【その他の質問】

◆ふるさと交流村拠点施設用地に関して。①契約日、譲渡取得税の特別控除などを質問。②開発申請、農地の解除・地目変更の手続についての有無を質問。

◆コンビニエンスストアを交流村計画に位置づけることが決まったのはいつの時点か、を質問。
◆NPOや株式会社、またコンビニが全体を管理をする場合でも赤字が出れば町の責任は逃れられない、など質問。

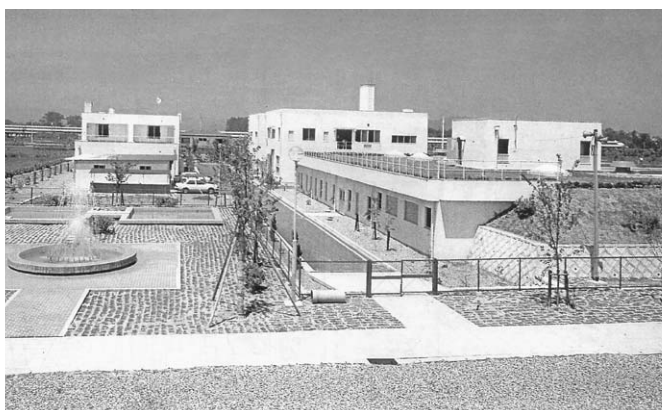
◆学校給食への地元産物の活用や品目横断対策への対応など農業振興策を質問。

◆子育て支援のためにも医療費の無料化の対応など、福島県の大玉村の14の町独自事業を紹介しながら質問。

◆同和对策事業が終了しているのか、継続しているのか、などを質問。

広域行政施設の視察・見学

3月10日、議会全員協議会として甲良町がかかわる広域行政の施設見学を行ないました。その施設や見学の概要を紹介します。



湖東広域衛生管理組合

●豊福苑（ほうなんえん）
湖東広域衛生管組合のし尿処理施設で、構成町は東近江市（旧愛東町・旧湖東町）、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町です。当施設の処理排水は普通河川に流入し、近辺のかんがい用水に再利用され、最終的に琵琶湖に流入する関係上、万全の配慮をほどこし、環境基準上乘せを可能にした高度処理施設を完備しているとのこと。

湖東広域衛生管理組合が心身障害児通園事業として運営・管理に当たっています。施設は愛知郡愛荘町竹原にあり、定員40名で、専任職員は施設長など計10名が発達課題等に対応しています。当教室の目的は「健診や医療の現場などで発見された、心身に何らかの障害をもつ乳幼児や将来発達上の障害を残すおそれのある乳幼児とその家



●愛犬つくし教室
資料より概要を紹介し

町内公共施設の調査

3月14日に3月議会の開会中ではありましたが、今現在、甲良町が抱えている公共施設の視察・調査を実施しました。厳しい財政の中、また町民の皆さんからの税金や国・県からの補助金をいかに効率良く使われているのか、新人議員8名と経験議員3名の11名で視察しました。

各施設では、職員の方たちが、それぞれの立場において責任ある任務をされ、また今後は我々町会議員においても、色々な方面からの協力をしなければと考えさせられました。



● 児童クラブ



● 子育て支援センター
生まれたばかりの新生児から未就園児、保育センター、小中学校、高校、青年期そして親にという、一つのサイクルとして切れ間なく、甲良町として一環した子育て支援の取り組みを本センターが核となって実施します。

● 子育て支援センター



● 総合運動公園
年中無休いつでも、だれでも利用できる運動公園

● 総合運動公園

計画給水人口 9,200人
計画一日最大給水量 7,100m³
計画一人一日最大給水量 772ℓ



● 水道事務所



● 長寺地域総合センター
東学区のふれあいの館

● 長寺地域総合センター

総区画 396区画
売却済 187区画
残区画 209区画
一区画単価 23万円
町内住民 30万円
町外の方 5千円
年間管理費



● 墓地公園
まだまだ余地が有りまし

● 墓地公園



● 町立図書館
蔵書 75,445冊
年間貸出人数 17,167人
町民一人当たりの貸出冊数 8・59冊

● 町立図書館



● 呉竹地域総合センター
西学区のふれあいの館

● 呉竹地域総合センター



● 犬上川沿岸土地改良区事務所



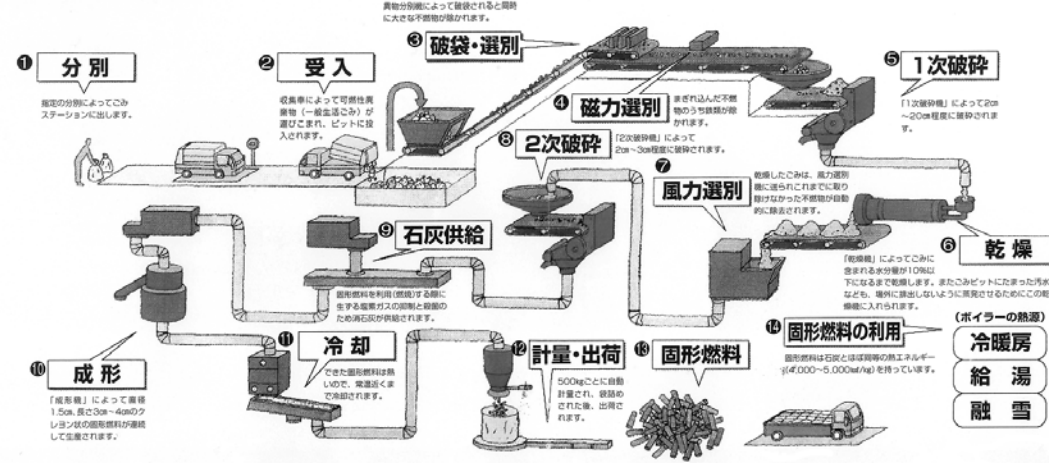
● 保健福祉センター

職員の説明では、施設の設計上の処理能力は1日当たり22トンですが現在では、同約40トンの処



● リバースセンター
当センターは東近江市（旧湖東町）平柳町に設置されています。
パンフレットによれば、「廃棄物循環型社会を目指し、ゴミの適正処理と資源化を図るため、平成9年にゴミの固形燃料化施設として完成」とあり

● ごみ固形燃料ができるまで ●



理のために、朝は5時から、深夜12時までフル稼働しているとのこと。減量化も大切だが、これ以

上増やさないことが重要と指摘し、可燃ごみに鉄パイプなどが紛れていると破砕機を傷めてしまう



● 紫雲苑
設置場所は多賀町敏満寺の山腹に設置。

● 彦根犬上広域行政組合
当組合は、彦根市、豊郷町、甲良町、多賀町で構成されており、火葬場の「紫雲苑」と一般廃棄物最終処分場の「中山投棄場」を管理・運営しています。

火葬場は人生の最終で誰しもがお世話になるところです。
資料によれば、人体炉が6基、汚物炉が1基、一日当たり最大火葬可能件数は12体とされています。18年度の利用状況では13歳以上の者が1055体、13歳未満の者が7体、死産児28体となっています。



● 中山投棄場
当投棄場は鳥居本の中山町にあり、平成10年9月に供用開始され、10年が経過します。埋め立て期間が17年間とされており、平成27年まで、後7年というのは、たちまち迫ってくる年数で、ゴミの問題は根源から解決しなければならぬことを改めて突きつけられました。



親子が集うふれあい教室

3月の親子ふれあい教室では、お母さん方の企画による人形劇、合奏、紙芝居などの出し物で楽しい時間をすごしました。

事前に集まっていたわいわいがやがやと楽しく、また熱心に練習され、その成果を子どもたちに発表されました。お母さん方の真剣な姿に子どもたちも身を乗り出して見入っている姿が印象的でした。

おたのしみ会での取り組みがきっかけとなって子育てのサークルも生まれています。子育ての仕方や心配事などを一緒に話し合うことで、「気持ち」が軽くなった、「みんな同じ事で悩んでいるんだなあ」といった声も聞かれます。

「みんなで一緒に子育てをしようね!」という思いを支援センターは応援したいと思っています。今年度もどうぞ、よろしくお願いします。



地域の中で「子育て支援の輪」を…
お楽しみ会を開催!

子育て支援センター

議会日誌

2月

- 5日 第1回臨時議会（初議会）
- 8日 議会全員協議会
- 14日 大滝山林組合三郷議会委員会
- 15日 滋賀県市町村議会議員公務災害補償等組合定例会
- 第5回滋賀県町村議会議長会理事会
- 湖東広域衛生管理組合定例会
- 18日 大滝山林組合委員会
- 19日 水道運営委員会・下水道審議会
- 国保運営協議会、介護保険運営協議会
- 学校給食運営委員会
- 20～21日 全国町村議会広報研修会
- 22日 例月出納検査・定期監査
- 26日 滋賀県町村議会議長会定期総会・正副議長研修会
- 27日 議会運営委員会
- 28日 大滝山林組合定例会
- 29日 彦根市・犬上郡山林組合定例会
- 彦根犬上広域行政組合定例会

3月

- 2日 犬上川クリーン作戦
- 5日 定例会（閉会）
- 6日 産業建設文教常任委員会、総務民生常任委員会
- 7日 予算・決算常任委員会
- 10日 議会全員協議会（広域行政施設見学）

- 11日 中学校卒業式
- 予算・決算常任委員会
- 議会運営委員会
- 12日 予算・決算常任委員会
- 14日 議会全員協議会（町公共施設調査）
- 19日 東西小学校卒業式
- 定例会・一般質問（閉会）
- 25日 東西保育センター卒園式
- 彦根休日急病運営委員会
- 26日 例月出納検査・定期監査
- 議会広報特別委員会
- 28日 第6回滋賀県町村議会議長会理事会

4月

- 1日 教職員着任式
- 7日 東西保育センター入園式
- 8日 春の交通安全運動啓発
- 東西小学校、中学校入学式
- 11日 初当選議員研修会
- 17日 議会広報特別委員会
- 22日 多賀大社古例大祭
- 23日 例月出納検査・定期監査
- 24日 犬上郡町村議会議長会総会
- 25日 議会全員協議会
- 議会広報特別委員会

改選後の議会構成により、新しく5名が年4回発行予定の議会広報の編集担当となりました。



左から、濱野議員、建部議員、山田議員、北川議員、西澤議員

28競技302種目に熱戦が展開される中、日本選手には前回、金銀銅獲得メダル数37個を上回る活躍を期待したいものです。

北川豊昭

今年は8月8日から17日間の予定で北京オリンピックが開催されます。もともとオリンピックの語源ともなっているオリンピアとは、ギリシア神話に登場する最高神ゼウスの神殿があった場所です。古代ギリシア時代、ここでゼウスを讃える祭典と競技が行われました。

オリンピック競技会の優勝者の記録が残っているのが紀元前776年からなので、この年のオリンピックが始まりとされています。8月8日から開催の今年のオリンピックも数々のドラマや感動が茶の間を賑やかにしてくれる事でしょう。

